



## World Supersport Championship

round - 8 Italy Jime 19

大久保光-予戦 16 番手 決勝 12 位。

World Supersport Championship (WSS) 第 8 戦は、イタリアのアドリア海沿岸の町ミザノにあるミサノ・ワールド・サーキット・マルコ・シモンチェリで 6 月 19 日に開催されました。07 年にコースが改修され、1 周 4.226 km のコースには右 6、左 10 のコーナーがあり、ストレートは 510m と長くないことから、コーナーをリズムカルに攻略しタイム短縮につなげることが大事なサーキットです。レースウィークは青空が広がる晴天に恵まれました。

大久保は、初めてのコースに果敢に挑み自己ベストを更新。予選でもベストを記録しますが、そのタイムが、コースアウトの判定となり抹消されてしまいます。チームオーナーと抗議し、ビデオ判定を申し出ますが、受け入れられずに 16 番手が確定します。ベストタイムが認められれば、上位 12 台で行われる最終予選のスーパーポール (SP) に進出の可能性もあっただけに、悔しさを抱えることになりました。

その思いを晴らそうと決勝に挑み、スタートダッシュし 12 番手までポジションアップ、11 番手争いを繰り広げました。最終的に 12 位でチェッカーを受け、3 戦連続のポイントゲットで、確実なステップアップを実感、スタッフの祝福を受けました。

WSS は、ここからサマーブレイクとなりますが、大久保は秋吉耕祐、D・カドリンと共に au&テルル・Kohara RT から鈴鹿 8 時間耐久 (7 月 31 日決勝) に参戦が決まりました。初参戦となる鈴鹿 8 耐で上位を目指すことはもちろんですが、自身のレベルアップを目標として、その成果を WSS に生かす覚悟です。

大久保光

「予選の判定は、とても残念で悔しかったのですが、気持ちを切り替えて決勝に挑みました。12 位に納得はできませんが、今回のレースは収穫がたくさんありました。自分自身のライディングの改良点、マシンのセットアップの方向と、レベルアップするために、何が必要か、進むべき方向がしっかり見えました。おのずと、トレーニングで強化する部分も明確になり、9 月までにしっかり身体を作り、メカニックとマシンを仕上げて行けば、シングルフィニッシュは、もちろんですが、6 位以内も見えるところまで行けると思えるようになりました。そのために次戦までの時間を使いたいと思っています。

また、子供の頃から憧れていた鈴鹿 8 時間耐久に参戦することが決まり嬉しく思っています。先輩の秋吉さんからセットアップやレースの進め方など学びたい。1000 cc に挑戦することも楽しみです。大きなバイクも乗れるというところを見せたいと張り切っています。8 耐を経験することで、スキルアップ出来るように、すべての時間を無駄にせずに精一杯に挑みます」

○鈴鹿 8 時間耐久は 7 月 31 日決勝。WSS は 9 月 18 日ドイツで開催されます。

※アドレスをクリックして頂きますと、メールが立ち上がるようになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい。取材対応もさせていただきますので、よろしくお願い致します。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1\_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

